



香取で暮らす、香取を楽しむ情報紙

広報

# かとり

Katori

平成28年(2016) 7月15日号 No.248

農場から食卓へ

あぐりのたまご



たけひさ  
山田 武久さん(虫幡)

家業の養鶏業を継ぎ、若くして有限会社山田養鶏場を設立。平成5年には、養鶏場を経営する傍ら、直売所あぐり花咲里をオープン。健康な若メスが産む赤玉卵は、アスタキサンチンを多く含んだ自社オリジナル飼料で生まれ、ほんのり赤い黄身が特徴。

## カトリノ郷物語

まだ見ぬ美味しさを語り明かす

vol. 15

15日号は農政課で募集した「香取の逸品」にスポットをあてます

創業6周年を迎えた道の駅さわらで農産物の売り上げ第1位を誇るのが、あぐり花咲里の鶏卵。経営する山田養鶏場を訪ねた。「特別すごいものは、やっていませんよ。まあ、食べてみていただければ分かってもらえると嬉しいです」

謙遜しながらも商品への自信をのぞかせる代表取締役の山田武久さん。そもそも、山田養鶏場を経営しながら、虫幡にあぐり花咲里をオープンさせたのは20年以上前に遡る。「顔の見える農業」という言葉は今でも耳慣れた言葉だが、山田さんは「良い農産物を直接消費者に届けたい」という思いから、いち早く直売所を作った。あぐり花咲里という名前は、産みだすの卵をはじめ、新鮮な農産物を販売しようと英語のアプリカルチャー（農業）から命名したという。

「何度も買い求めてくださるお客様からは、鮮度の良さだけでなく、コクがあり、甘味を感じるという声をいただきます。餌や水にこだわり、衛生面にも気を付けていますが、消費者の皆さまに対する安心・安全の確保は生産者の義務として当たり前のこと。特別なことではありません」と淡々と語る山田さん。とはいえ、疲労回復のほか美容、眼精疲労にも効果があると言われるアスタキサンチンや、セサミンを含んだ焙煎ゴマを飼料に入れるなど、こだわりも見られる。また、毎月、専属獣医によるサルモネラ菌、大腸菌、カンピロバクター、鳥インフルエンザなどの鶏病検査を実施。鶏の飲料水も、地下水をそのまま使わず、イオン交換樹脂による硝酸態窒素、大腸菌などの除去装置を経由した衛生的な水を与えている。

山田さんは、3000羽の鶏を飼育する家の長男として生まれ、23歳で有限会社山田養鶏場を設立。30歳で5、6万羽に、35歳で市外にも養鶏場を設立して10万羽に増やした。そして、45歳の時、養鶏数を30万羽にまで拡大した。百聞は一見にしかずと、栃木、群馬、新潟、北海道、京都など全国各地の鶏舎や直売所を見学し、養鶏業を取り巻く環境の変化への対応も考えてきた。また、震災後、撤退した空き店舗に出店しないかと打診され、稲敷市のショッピングセンターにも直売所と食堂を構えた。少しでも近隣が活気づけばと出店を決めたそう。ここでは、卵の販売以外にも卵を使った料理を提供し、常連客を集めている。

順風満帆に思われるが、70歳を越えた今、ある決断をした。事業をピーク時の30万羽から4万5000羽に縮小するという。年を重ね、身の丈にあった規模でより消費者に寄り添った生産体制にしようと考えているそう。その中で実現したいのは、「たまご自動販売機」の増設だ。虫幡の直売所にも置かれているこの一風変わった自動販売機は、消費者が時間帯など気にせず、気軽に購入できるように設置されたものだ。鶏の飼育数や直売店を増やすなど、攻めの経営をしてきた山田さんだが、地域に会社を育ててもらったという感謝の念も強い。それだけに市主体で、鶏卵の産地としての知名度を上げていければと考えている。



祝・香取市  
合併10周年

- 02 水郷おみがわ花火大会
- 03 地域電力会社 (株)成田香取エネルギーを設立
- 03 ひとり親家庭への支援



あぐり花咲里

虫幡にある直売所、道の駅さわらのほか、ショッピングセンターパルナ(稲敷市)には販売と食堂も兼ねた店舗を出店。佐倉市にも店舗あり。

### 特典 動画付き

COCOAR2アプリをダウンロード  
アプリを起動し表紙にかざす  
COCOAR2



アプリアイコン



iOS・Android対応

香取の逸品  
KATORI